

我孫子市環境レンジャー通信  
No85  
(令和5年1月発行)

# たまっけ

(発行)  
我孫子市環境レンジャー  
(連絡先)  
我孫子市手賀沼課  
04-7185-1484(直通)

「たまっけ」とは昭和35（1960）年頃まで手賀沼でもたくさんすんでいたカラスガイのことで、今はほとんど見られません。環境レンジャーは、我孫子の自然環境を市民に伝え、市民と一緒に考え、守り育ててゆくために結成されました。みなさん、一緒に美しい我孫子を守り育てましょう。

## 《 特 集 》

### エコ・こども教室2022 手賀沼賞受賞作品発表会

( 環境レンジャー 荻野 茂 )

今年は3年ぶりに、14回目となる手賀沼賞受賞作品発表会が「あびこ子どもまつり2022」の会場であるアビスタの第1学習室において、10/16(日)に開催されました。この発表会は、小中学校の児童・生徒に研究報告発表の機会を設け、多くの人々に身近な手賀沼の自然環境や生活環境を伝えることを目指しています。

発表会は10時に開会され、発表者のご家族、お友達や学校関係者など総数64名の参加者のなか、発表は低学年から順次行われ、各発表者の堂々とした様子や事前準備の賜物と思われる素晴らしい発表は、会場の皆さんに大きな感銘を与えていました。いずれの作品も立派な資料作りで分かりやすくパワーポイントや書画卓で研究内容を説明していました。コメンテーターの方からも「今年の作品は研究範囲が多岐にわたり、私たちの専門外の研究が多いです。『手がぬま公えんコケマップ』は道路や壁にも生えている事に注目した点、『手賀沼周辺鳥図鑑』は、一年以上という長期にわたり自分で多く鳥の写真を撮り続けたこと、『手賀沼で発見 薬になる植物52選』は、樹木・野草・植木等から52種類も見つけたこと、『手賀沼から塩はとれるのか』は、手賀沼から塩分を抽出するという発想、『設置型湖沼浄化装置の製作－手賀沼の水環境を守りたい－』は、装置の設計から製作に至るまでの意欲、これらは中々思いつかないことです。皆さんのこれからの研究に大いに期待し、将来が楽しみです。」との称賛の講評をいただき、盛況のうちに本年の発表会を終えることができました。

### 令和4年度 我孫子市小中学校 科学作品展「手賀沼賞」入賞者一覧

| 番号 | 作 品 名                       | 学校名   | 学年 | 氏 名    |
|----|-----------------------------|-------|----|--------|
| 1  | ★手がぬま公えんコケマップ               | 我孫子一小 | 1年 | 井口 英明  |
| 2  | 我孫子市の水しつ調査                  | 我孫子一小 | 3年 | 井口 和明  |
| 3  | 手賀沼とびわ湖のプランクトンのひかく          | 我孫子三小 | 4年 | 高橋 碧海香 |
| 4  | タイリクバラタナゴのはんしょくについてのけんきゅう   | 我孫子四小 | 2年 | 鈴木 結人  |
| 5  | ★手賀沼周辺鳥図鑑                   | 我孫子四小 | 4年 | 梶 ななこ  |
| 6  | 洗剤はどのくらいすめれば魚がすめるようになるのかな？  | 我孫子四小 | 5年 | 吉成 優菜  |
| 7  | ★手賀沼で発見 薬になる植物52選           | 湖北小   | 6年 | 藤井 優里那 |
| 8  | はじめてのむしのひょうはん               | 高野山小  | 1年 | 斉藤 陽香  |
| 9  | 手賀沼のひみつ                     | 根戸小   | 5年 | 中山 結聖  |
| 10 | 手賀沼のコバクチョウはいったいどこへ？         | 我孫子中  | 2年 | 赤津 駿介  |
| 11 | ★手賀沼から塩はとれるのか               | 我孫子中  | 2年 | 程田 尚樹  |
| 12 | ★設置型湖沼浄化装置の製作－手賀沼の水環境を守りたい－ | 我孫子中  | 3年 | 城野 来海  |
| 13 | 我孫子市の湧水の調査                  | 久寺家中  | 1年 | 田邊 義人  |
| 14 | 植物標本                        | 久寺家中  | 3年 | 船水 光翔里 |
| 15 | こんぶくろ池から手賀沼までについての研究        | 白山中学校 | 1年 | 並木 英彰  |

★：エコ・こども教室2022発表作品

《特集》 エコ・こども教室2022 発表作品(手賀沼賞受賞作品)のご紹介①

## 手がぬま公えんコケマップ

我孫子市立我孫子第一小学校 1年 いのくち ひであき 井口 英明

### 作品のあらまし

土の上だけでなく、道路や壁にもコケが生えている事に気がついて、コケがどんな植物でどんな種類があるのか調べてみようと考えた。

採集して、種類、特徴、生えている環境を調べ、また、環境を変えてみる実験もして考察してみた。



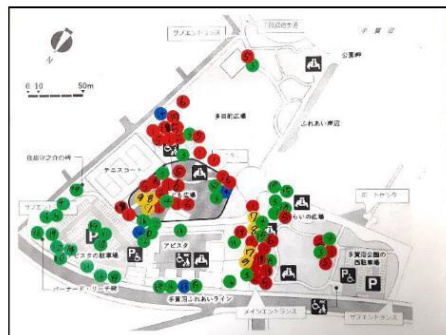
### 作品の優れた点

地味なコケに目をとめて広い公園の中を歩き回って19種を採集し、その種類、特徴を調べコケマップを作成した。

なぜ土の上でなくても生きられるのか？

環境を変えて見たらどうなるのか？

と疑問を持ち、さらに水を与えた場合と乾かした場合の違いを観察した。その結果、日光、水、日陰が必要だと分かった。



### 推薦理由

(環境レンジャー 竹内 トヨ子)

コケという地味な存在に目を向けて、疑問を持ち調べてみようという行動したのが一年生だと知り驚きました。

種類、特徴を図鑑で調べるだけでなく、コケが育つには何が必要か、観察して結論付けられた作品に感心しました。また、マップも種類別のシールを貼り、とても見やすいです。

#### ●受賞者の方から感想文をいただきました(^^)／

ぼくは、手がぬましようエコ・こども教室をじゅしゅうして、じゅうけんきゅうをはっぴょうできて、とてもうれしかったです。

コケのけんきゅうは、コケをさがして手がぬま公園をたくさん歩いたのがとてもあつくて大へんでした。それから、はじめのうちは、さいしゆたコケを図かんでしゅるいをしらべても、わからなくてあきらめそうになりました。

でも、今では、コケの名前がわかるし、お気に入りのコケもできました。つう学ろにもお気に入りのコケスポットがみつかって、まい日歩くのがたのしいです。

コケは、かわいているときとぬれているときで大へんしんします。ルーペとピンセットとスプレーボトルをもってコケさがしにいくととてもおもしろいです。みなさんもぜひやってみてください。

《特集》 エコ・こども教室2022 発表作品(手賀沼賞受賞作品)のご紹介②

# 手賀沼周辺鳥図鑑

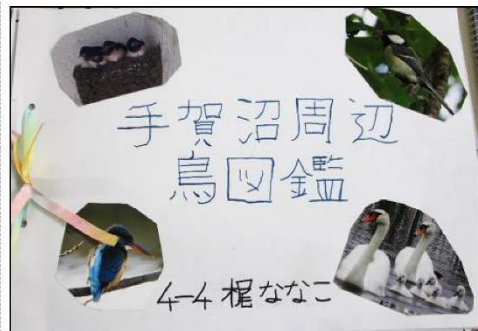
我孫子市立我孫子第四小学校 4年 <sup>かじ</sup> 梶 ななこ

## 作品のあらまし

鳥に高い関心があり、もっと鳥について知りたいという素直な気持ちから、自分のカメラで昨年の10月から今年の8月まで手賀沼周辺の鳥の撮影を続けていた。

撮りためた写真と鳥カードを使用して手賀沼周辺鳥図鑑として完成させた。

また、手賀沼周辺の四季の移ろいの中で鳥が良く見られる場所を、地図上にまとめた。



## 作品の優れた点

約1年にわたり主に手賀沼周辺にいる鳥を観察し、70種もの鳥について図鑑としてまとめている。

普段あまり聞きなれないアリスイや、水辺の宝石といわれるカワセミなども含まれ、日頃の地道な努力が感じられた。

水辺の鳥、巣の中の鳥、ヨシ原の鳥など一枚一枚の写真の表情が生き生きと美しく大変魅力的である。

「手賀沼周辺の生き物と自然環境をいつまでも守りたい」そんな想いにさせる作品である。



## 推薦理由

(環境レンジャー 山田 雅美)

昨年の10月から長期にわたり、70種もの自然の中の鳥を撮影することは本当に大変な事で、写真を撮った時の梶さんの様子を想像しながら、図鑑に引き込まれました。

何度も繰り返し見たくなる、努力と鳥に対する興味・愛情から生まれた世界でひとつの「手賀沼周辺鳥図鑑」です。

### ●受賞者の方から感想文をいただきました(^^)／

わたしが鳥を好きになったのは、船戸の森でシジュウカラの「ツツピー」という声を聴いて、「なんの鳥だろう?」と思って調べたことがきっかけでした。3年くらい前から鳥を見始め、写真を撮り始めたのは1年前です。趣味の鳥見で見た鳥をまとめてみたただけなので、まさか賞に選ばれるとは思っていませんでした。

たくさん鳥の写真を撮ったので、その中から写真を選ぶことが大変でした。今回載せるのを忘れた鳥（オナガなど）もいるので、それらの鳥も載せてまた作ってみたいです。

手賀沼の周辺でまだ行っていない場所もあるので、そこでも探鳥して見たことのない鳥を探してみたいです。また、季節が変わるとどんな鳥が来るのかも気になっています。

《特集》 エコ・こども教室2022 発表作品(手賀沼賞受賞作品)のご紹介③

# 手賀沼で発見 薬になる植物52選

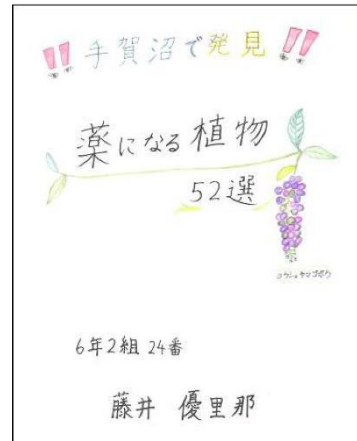
我孫子市立湖北小学校 6年 藤井 優里那

## 作品のあらまし

手賀沼付近に生息している植物のうち、薬として活用されている植物を収集し、その成分や効能をまとめた作品。

植物の効能をグループ化し、わかりやすくまとめ、52選の植物の写真を撮影し、実物を押して花として載せることで、実物がよりわかりやすくまとめる工夫がされている。

手賀沼の周りに絞った手作りの薬草辞典のような体裁となっている。



## 作品の優れた点

手賀沼周辺薬草辞典のような体裁となっている点。

樹木、野草、植木等52選は植物名、採取日、場所、その成分と薬効等わかりやすく記載し、また植物の特徴、大きさ等は図鑑の記載事項をきちんと確認している。

また、湿度が高い時期の植物の保管に大変気を使い、きれいに押し花を仕上げたことは努力の賜物と感じた。



## 推薦理由

(環境レンジャー 荻野 茂)

研究の動機が、昨年の鳥の研究で手賀沼周辺を歩き回った時に鳥が食べていた植物を見て、どんな植物がどれくらいあるか興味を持ち、薬になる植物について研究するということに結びついた姿勢がまず素晴らしい。52選もの植物を詳しくまとめ収集したこと、また名前を調べただけでなく、図鑑などの記載事項もきちんと確認したことが記述内容からもくみ取れ、たいへん努力したことが感じられる素晴らしい作品です。

### ●受賞者の方から感想文をいただきました(^^)／

私は1年生の時からコロナで選出のなかった4年生の自由研究を除いて6年生までで、5回の賞を頂くことが出来ました。とても嬉しい事だったし、自分にとって自信に繋がることでもありました。ですが、このエコ・子ども教室と研究発表に参加したのは、実は6年生の今年が初めてで、発表することも緊張していました。研究発表会が始まると色んな人が見ているその中でしっかりと研究の内容や結果を話している同じ小学生に驚きました。研究の内容はもちろん興味深いものばかりで、聞いている時間はあっという間でした。

そして、自分の順番がきた時にうまく話せるか心配でしたが、見ている人や同じ発表をする人たちが、すぐ興味をもって話を聞いてくれたので緊張も解け、終わった時にはほっとしました。発表と表彰が終わり、その後1階のクイズのところに行くと、自分の自由研究を元にクイズに答えて楽しんでいる同じ小学生たちを見掛けて嬉しくなり、自分も参加して楽しむことが出来ました。初めて参加したエコ・子ども教室でしたが、小学校最後のとても良い思い出になりました。

《特集》 エコ・こども教室2022 発表作品(手賀沼賞受賞作品)のご紹介④

## 手賀沼から塩はとれるのか

我孫子市立我孫子中学校 2年 ほどた 程田 なおき 尚樹

### 作品のあらまし

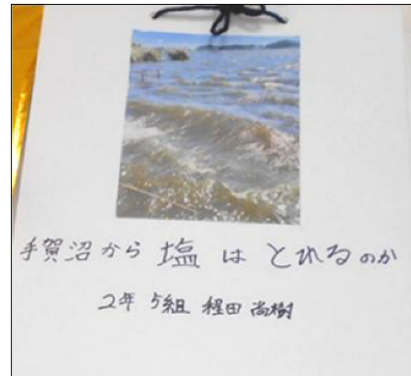
昔、手賀沼は海であったことから、今でも手賀沼近辺では塩分が残っているのでは？との思いから、手賀沼の水を採取して海水との成分を比較調査した。

- ・海水と手賀沼の水（1500 ml）を鍋で煮詰め残留物を比較検討した。

炎色反応にかけてみると塩分を示す黄色の反応があった。

さらに残留物を顕微鏡で観察したところ塩の結晶と同じ四角形の結晶があった。

- ・塩のとれ高(それぞれ 1500 mlにつき)



### 作品の優れた点

太古、手賀沼は海であり、江戸時代末の地誌に「我孫子の手前で塩を産出していた」との資料を見て、手賀沼の水からも塩分が検出されるのではとの疑問を解消すべく実験を行った。

- ・海水と手賀沼の水を蒸留し、残留物を燃やした時の色で成分元素が検出できるという炎色反応の実験を行った。
- ・顕微鏡で残留物から塩の結晶を探した。
- ・手賀沼の水からも微量ではあるが塩を算出した。

### 推薦理由

(環境レンジャー 佐藤 美次)

手賀沼が海であった痕跡を調査するのに海の生物などの化石の探索から着手するのではなく、塩の存在に着目したのが素晴らしいです。手賀沼の水を煮詰めた残留物には多くの不純物があるなかで、粘り強く塩の結晶を見つけ出したのは立派な成果です。これからも多くの他の地点での塩の存在の調査研究を期待します。

#### ●受賞者の方から感想文をいただきました(^^)／

利根川図志に江戸時代に塩の産出があったという記録を知って、ぼくは興奮しました。今もとれるのではないかと思います、研究しました。理科年表に手賀沼は淡水湖と書いてあります。もし、塩がとれれば、手賀沼を淡水湖から汽水湖へ変えた人になります。

手賀沼から塩をとる練習として、比かくをするために、海水でも実験しました。同じ条件で実験をするため、1500mlずつ採取し、海水の塩が、手賀沼の実験でとれるのを防ぐため、なべや採取の時に使うペットボトルは手賀沼と海水で変えるなどの工夫をしました。手賀沼の水を蒸発させている時、はやくとれてほしいという気持ちでした。なかなか水が蒸発してもとれず、期待と不安でいっぱいでした。そして、手賀沼から塩がとれたと分かった時、うれしくて感動しました。

手賀浦と呼ばれていた頃の塩が残っているのか、利根川を経由して、海水が入り込んでいるのか、今後、さらに詳しく調べていきたいです。

《特集》 エコ・こども教室2022 発表作品(手賀沼賞受賞作品)のご紹介⑤

# 設置型湖沼浄化装置の製作

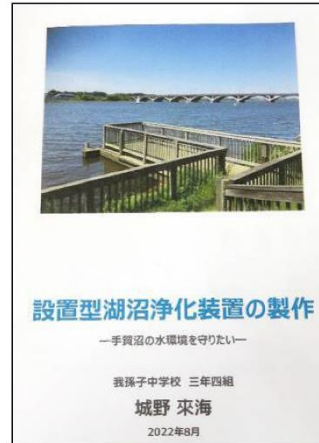
## 一手賀沼の水環境を守りたいー

我孫子市立我孫子中学校 3年 城野 来海

### 作品のあらまし

手賀沼の水環境を守りたいとの思いから改善方式の調査とモデル作成をした。

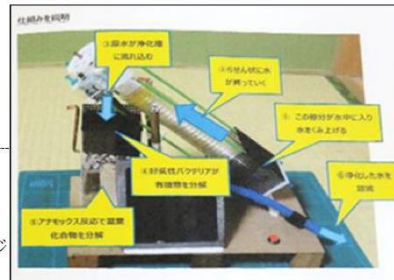
- ・汚染の現状認識  
生活・産業系の汚染は減少しているが、市街地・田畑・山林系は横ばい。  
沈水植物の絶滅による窒素・リンの吸収が難しい。
- ・改善方法の調査・研究  
手賀沼に流れ込む、または流れ込んだ水がフィルター通過する時にバクテリア・細菌を作用させるろ過方式化を調査検討した。（アナモックス菌等）



### 作品の優れた点

#### 浄化装置モデルの製作

- ・24時間稼働を想定し、太陽電池と蓄電池を動力源とするが、モデルでは乾電池とモーターでイメージした。
- ・浄化槽への揚水はアルキメディアン・スクリュー方式の揚水ポンプを使用（画像①②）
- ・浄化槽はプラスチックケースを使用した三段式とする。（画像③）  
上段は好気性バクテリア用浄化槽（画像④）  
中段は好気性と嫌気性のバクテリアの混在する脱リン槽、下段はアナモックス菌方式による窒素化合物浄化槽（画像⑤）
- ・窒素ガスを空気中に排出するための煙突の取り付け・下段で浄化が終わった水を排水するパイプを取り付け（画像⑥）



### 推薦理由

（環境レンジャー 野倉 元雄）

詳しく論理的に水質浄化の方式研究とモデルの実作の二刀流を実践できたことは大変立派な成果です。

#### ●受賞者の方から感想文をいただきました(^^)/

小学生の頃から、毎年、工作にこだわりながら科学作品展に出品してきましたが、最後の年となる今年度は、大好きな手賀沼の水環境を守れるような工作は出来ないものかと考えました。水質の劣化要因のうち、流域河川や雨水から流れ込む面源系の負荷については、地道な道路清掃や浸透枾の設置等、時間も費用もかかるということがわかりました。また、手賀沼の現状では沈水植物が育ちにくく、自浄作用も現状では、あまり期待できません。そこで手賀沼の水を常に汲み上げ、バクテリアの力を使って浄化する装置はどうだろうとモデルをつくってみることにして、出来たのがこの設置型湖沼浄化装置です。ろ過装置を検討するにあたり、各地の河川や湖沼の水環境を守るために、いろいろな企業や行政、研究機関等で検討されており、インターネットで読むことのできる資料や論文を参考にさせていただきました。

自分が生まれた時からいつも傍にあった手賀沼を、少しでも綺麗な状態で保つことが出来るよう、これからいろいろな検討や提案をしていきたいと思います。

## 《特集》 エコ・こども教室2022 手賀沼賞受賞作品発表会の様子



発表会場（アピスタ）の様子



タブレットを使っでの発表

## 《特集》

### エコ・こども教室2022 ～ストリート編～

（環境レンジャー 野倉 元雄）

「あびこ子どもまつり 2022」に合わせて開催されるエコ・こども教室 2022 の手賀沼賞受賞作品のパネル展示はなるべく多くの皆さんに見ていただけるよう、2 週間前の 10/2 から展示され、作品の立派な内容にアピスタ来場者の多くの方々の大きな関心を集めていました。

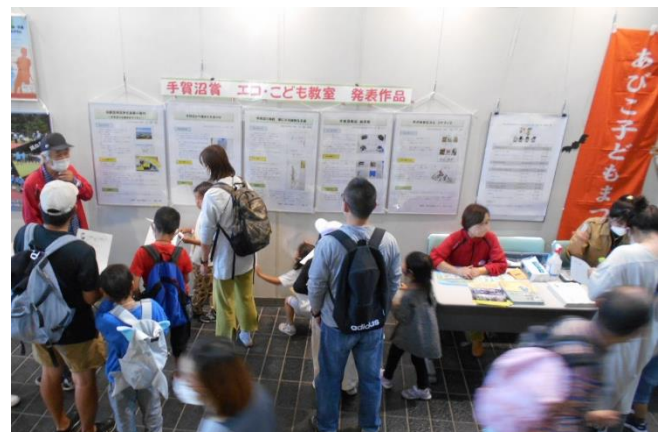
10/16 の 10 時から開催されたこどもまつり当日には、アピスタが開場された 9 時から続々と参加者の来場があり、アピスタのストリートも徐々に賑わいを見せていきました。展示されているパネル作品は来場者の強い関心を集め、立ち止まって熱心に内容に目をとる大人やこどもが見られました。また早速クイズに挑戦することもたちもいて、関心の強さを感じられました。10 時になりこどもまつりの開会式が終わると、ストリートは多くの来場者で一層の賑わいをみせ、小学生のお友達がグループでクイズに挑戦したり、ご父兄とこどもと一緒に展示されている作品のクイズを話し合う姿もありました。作品の作者と同級生の子は誇らしげに「よく勉強したんだね」と話してくれたりしました。

2 階の会場で開催されていた発表会が終わった午後からもストリートの人通りは絶えることなく、むしろ増えたように思えるほどで、多くのこどもはクイズに挑戦し、大人はパネル作品の研究レベルの高さに感銘を受けている様子でした。クイズに挑戦したこどもたちには参加賞としてもらえるボールペンとクリアファイルが好評のようでした。

終了時刻の 3 時を過ぎた時には、参加者数が 364 人を数えていました。スタッフ一同は大忙しで、少し疲れるほどのクイズ大会となりました。



ストリート（アピスタ）の様子



多くの方にエコクイズに参加していただきました

## 環境レンジャー活動報告

## 市民のチカラまつり2022 ～缶バッチを作ろう～

（環境レンジャー 竹内 トヨ子）

9/24(土)及び25(日)に、けやきプラザにて「市民のチカラまつり2022」が開催されました。環境レンジャーの「缶バッチを作ろう」は24日のみの開催です。台風接近とのニュースでどうなるのかと気掛かりでした。金曜日の夜は酷い土砂降りとなり土曜日の人出が心配でしたが一夜開けると雨はやみ曇天ながらもまあまあ天気となりホッとしました。

今年は昨年同様7階の介護実習室を、環境レンジャー「缶バッチを作ろう」と我孫子野鳥を守る会「野鳥クイズ」の共同使用で良いコラボレーションとなり、結果的には相乗効果が得られたように思います。

始める前に一年ぶりに缶バッチ機器の操作の復習を行いましたが、いざという時になって、機器に不具合が生じ失敗作が続きあたふたしてしまいました。蓋の部分と留め金の付いた受け皿部分のはめ込みが上手くいかない状態で外れてしまうため、いつも以上に力をいれて押し込み何とか出来上がるも、機器の不調は最後まで改善されませんでした。それでもスタッフは一生懸命頑張って70名近くに対応し缶バッチ作りに奮闘しました。



いつも以上にがんばって押ししました！



自分の好きな絵柄を選んでね！(^^)！

昼過ぎ2時近くになり、100個用意した材料のうちフィルムが無くなりやむを得ず終了といたしました。

来場者の多くは親子連れで、お子さんは2～3歳から小学生低学年が大部分を占めました。昨年も缶バッチ作りに参加し今年もまた楽しみにしていたと、嬉しい言葉を頂きました。一人一個では物足りないとおねだりして作る子もいたりして、楽しんでいました。

出来合いのものでなく、自身で好きな絵柄を選んで機器を操作して缶バッチを作り上げる行程が嬉しいのだと、一人の女性の言葉が嬉しかったですね。

## 環境レンジャー活動報告(ネイチャーイン)

## ハケの道 ～自然と史跡散策～

（環境レンジャー 野倉 元雄）

11/19(土) 午前9時半に我孫子駅前に集合したのは、一般参加者5名とレンジャー6名の計11名。集合時刻には肌寒さがあったものの、暖くなる予感の日でした。自己紹介の後、駅前の白樺派の人々の写真と蒸気機関車のモニュメントを見学して、いよいよ出発です。

我孫子駅から我孫子宿本陣跡へ

最初は旧山一製糸の生糸工場跡地（現在イトーヨーカドー）の説明板で明治期の我孫子の工業化の様子を知ることができます。また、近くに鰻店があり江戸時代は手賀沼の鰻が「手賀沼のあお」と呼ばれ江戸の人々にも評判であったといわれています。

356号道路へ向かって進むと、現在個人住宅ですが、江戸時代は水戸・成田街道の我孫子宿の脇本陣の茅葺屋根の建物を見ることができ、更に志賀直哉の『和解』に登場する医院跡、我孫子宿本陣跡から子の神道の石造り道標を通って子の神道へと進みます。

## 環境レンジャー活動報告(ネイチャーイン) ハケの道 ～自然と史跡散策～（つづき）

### 杉村楚人冠旧邸から白樺文学館へ

静かな住宅街を進むと杉村楚人冠の旧邸に至ります。多くの樹木に囲まれた3棟の建物があり、母屋は明治の和洋折衷建築となっています。庭園見学の見どころは湧水の池と樹木や草花で、特に春の椿は多くの種類が咲き乱れます。梅の古木、楓の大木、何本もの芭蕉などがあります。楚人冠の業績や人となりの説明を終え、石段を下り裏門から出ると楚人冠公園の高台を目の前にして進みハケの道に至ります。

ハケの道は手賀沼が広範に干拓される以前、現在よりも沼の面積が広く、高台の土地の麓を東西に連なる道として使われてきました。ハケの道に入って東へ進むと白樺文学館があります。

これは100年ほど前、大正時代に志賀直哉や武者小路実篤等の日本文学界の一大潮流となった白樺派と呼ばれる多くの文学者が我孫子に住み、創作活動をしたことから、その活動の姿勢に共感された方が私財で設立し、後に我孫子市に移管されたものです。白樺派と縁の深い日本民藝運動に関する資料等も多く展示されています。白樺文学館の斜め前には志賀直哉の住居跡があります。多くの樹木に囲まれた静かな住宅を想像できます。志賀は短編小説の神様とも言われ、代表作に『小僧の神様』『城崎にて』、長編の『暗夜行路』等があります。



### 三樹荘と嘉納治五郎別荘跡地

ハケの道をしばらく進み、高台に続く階段を上がると志賀の弟子で「無限抱擁」を著した滝井孝作の旧居跡と2つの円墳があります。続いて更に進むと崖地から1年を通して湧水が出ており、この地域の人々が小さな石仏を設置して守ってきたことが知られます。また、近くには他の湧水があり、手賀沼の水害・水難を避ける水神を祀る石塔が見られます。続いて村川堅固・堅太郎の親子の古代西洋史研究の博士が住んだ別荘があります。母屋の建物は旧我孫子宿本陣の離れを移築した建物です。裏門は高台に通じており、子の神大黒天の門前となります。こちらは神仏を両方祀っており、その境内には前方後円墳があることでも知られています。

ここからは崖下のハケの道を離れ子の神道に戻ります。明治6年に開校された我孫子第一小学校の裏をとおり、やがて楚人冠邸の近くでハケの道に戻り西へ向かうと現在も営業を続ける大正煎餅のお店の前にでます。この近くに女流洋画家の三岸節子さんのアトリエがありました。更に西へ進むと天神坂の下に着きます。風情のある石段を上ると短歌の石板があり、大きな三本の椎の木がそびえていることから建物は三樹荘と呼ばれました。柳宗悦旧邸で、柳は白樺派と親しい関係にあり、民藝運動の中心的人物です。ここには陶芸家として活躍した英国人バーナード・リーチの陶芸窯がありました。三樹荘の向かいには講道館柔道の創始者であり、甥の柳宗悦を我孫子に呼び寄せた嘉納治五郎の別荘跡地があり、現在は公園として開放され嘉納の銅像が高台から手賀沼を見晴らしています。ここからは大光寺、香取神社を通して356号道路へ出ると明治天皇が行幸の折に当地でご休息をされ、ご飲料として井戸の水を献上したといういわれの井戸が整備されているのを見て駅前に着きました。

2時間半の行程でしたが、参加者からは「詳しく知ることができて良かった」とお礼の言葉を頂きました。

## 環境レンジャーのこれからの予定

詳しくは「広報あびこ」を見てね！

お申し込み、お問い合わせは、我孫子市手賀沼課（04-7185-1484（直通））まで



### 環境レンジャー サポーター募集中！

我孫子市の素晴らしい自然環境を紹介し、環境に対する気持ちを育んでいくために活動している環境レンジャーと一緒に活動してみませんか？興味のあるイベントにお手伝いとして参加するだけでもらうだけでもOKです♪

#### 【活動内容】

環境レンジャー主催のイベントのお手伝い

#### 【対 象】 高校生以上

※報酬、交通費等の支給はありません。

#### 【申込み・お問合せ】

我孫子市手賀沼課へ

環境レンジャーサポーター（又はお手伝い）希望

令和5年1月29日（日）

ネイチャーイン

手賀沼船上冬鳥観察会



時間：午前9時30分～11時

場所：手賀沼公園内ボートセンター小池前集合

たくさんの水鳥が集まる手賀沼の冬は野鳥観察のベストシーズンです。船上からの探鳥では陸からの探鳥と全く違った景色が満喫できます。多くの野鳥に出会えるでしょう。猛禽類のミサゴやかわいいカワセミの姿も見られるかもしれません。我孫子野鳥を守る会との共催です。

令和5年2月18日（土）

環境学習

紙飛行機工作と飛行大会



時間：午後1時30分～3時

場所：アビスタホール

捨てられるチラシや古新聞を再利用して紙飛行機を作ります。「スーと飛ぶ飛行機」「ふわふわ飛行機」「曲技飛行機」など作って、仕上げは一緒に飛ばして遊ぼうね。ビックリするほど飛ぶよ！

※傷害保険代50円/人が必要です。

令和5年4月23日（日）

ネイチャーイン

春の谷津の自然観察



時間：午前9時30分～11時30分

場所：JR東我孫子駅に集合

岡発戸・都部の谷津ミュージアムを散策し、春の草花、木の実、昆虫、野鳥などの自然を観察しませんか。谷津の自然の新たな発見を感じ取りましょう！



#### 《編集後記》

今回は手賀沼賞受賞者の作品発表会の特集となりました。手賀沼を中心に野鳥やコケの観察、薬草や塩の発見、水の浄化装置の研究など、みなさんの作品に感動しました！

環境レンジャーも、いろいろな企画を計画していきたいと思います。

『たまっけ』へのご意見、ご感想お待ちしております。

（環境レンジャー 継岡 伸彦）